

あなたと地域の防災力アップ

# 第21期「砂防公開講座」 第12回「防災住民講座」合同講座

入場無料：定員300名

開催：11月12日 日  
13時00分～15時55分(開場12:30)

会場：エコーみよた「あつみホール」

長野県北佐久郡御代田町馬瀬口1901-1

◎講演  あらためて見てみよう。浅間山の魅力とリスク

## 浅間山の噴火警戒レベル



山里 平氏

気象研究所火山研究部長

## 浅間山火山噴火減災対策事業について



田村 圭司氏

利根川水系砂防事務所長

## 浅間火山の歴史とその恵み



堤 隆氏

御代田町浅間縄文ミュージアム館長



- (1) 佐久ICから車で10分
- (2) しなの鉄道御代田駅から徒歩7分

問い合わせ先：長野地方気象台 TEL 026-232-3773 9時～17時(平日)

主催：「砂防公開講座」利根川水系砂防事務所  
「防災住民講座」防災住民講座実行委員会（浅間山火山防災協議会、御代田町、  
浅間山火山防災連絡事務所、前橋地方気象台、長野地方気象台）

※大地震の発生や気象警報の発表等により、やむを得ず講演会を中止する場合があります。

# 防災気象講演会テーマ

## 「あなたと地域の防災力アップ」

火山は、平穏なときは極めて美しい姿を見せ人々を魅了しますが、ひとたび噴火すると、甚大な被害を及ぼすことがあります。火山と共生していくためには、日頃は火山の恩恵を享受する一方で、噴火という危険な場面においては、迅速に避難などの行動をとることが必要となります。

浅間山火山の噴火警戒レベルは、平成19年に運用が開始されています。

これまで、長野・群馬両県の浅間山周辺8市町村では、自治体や国、火山専門家などで構成される「浅間山火山防災協議会」を設置し、主に小・中規模噴火における登山規制や道路規制、積雪期の融雪型火山泥流における一部住民避難などの対策について検討を重ね、具体的な避難計画や検討結果を住民等に普及啓発するための火山防災マップを策定してきました。

更に、火山地域に暮らす住民等の皆様の防災意識を向上を図ることが出来ればと思い「浅間山の魅力とリスク」をサブテーマとして講演会を開催することで、地域の防災力を高めることが出来ればと思います。



黒斑山から見た浅間山



浅間山で観測された火映現象



浅間山山頂釜山火口(東西500m、南北440m、火口底の深さ約200m)

### 浅間山 噴火警戒レベル3の規制（登山道・道路）



嬭恋村中学生による学習登山



2004年噴火で火口の北西約200mに飛散した大きな噴石(幅、高さ約5m)

## 演題・講師紹介

### 演題及び講師

1	開会挨拶	御代田町長 利根川水系砂防事務所長	茂木 祐司 田村 圭司	13:00~13:05 13:05~13:10
2	講演			
(1)	演題「浅間山の火山活動と観測」	講師：浅間山火山防災連絡事務所長	大塚 仁大氏	13:10~13:25
(2)	演題「浅間山の噴火警戒レベル」	講師：気象研究所火山研究部長	山里 平氏	13:25~14:15
(3)	演題「浅間山火山噴火減災対策事業について」	講師：利根川水系砂防事務所長	田村 圭司氏	14:15~14:45
		◇◇◇ 休憩(15分) ◇◇◇		
(4)	演題「浅間火山の歴史とその恵み」	講師：御代田町浅間縄文ミュージアム館長	堤 隆氏	15:00~15:50
3	閉会挨拶	長野地方気象台長	尾台 正信	15:50~15:55